

清和文楽再び海を渡る

清和文楽が、アイルランド、イタリアに続く海外公演となる
韓国公演に臨み、その伝統文化を隣国の地で披露しました。



清和文楽保存会と勝浦人形座の合同公演メンバー



公演された「日高川入相花王」



馬見原コースでは、知保窯のすてきな器がお出迎え。

日向往環 宿場町ウォーク

6月4日、5日の2日間、「日向往環宿場町ウォーク」が開催され、遠く福岡県からの参加者など延べ180名が新緑眩しい初夏の山都路を歩きました。3月に開催予定だった日向往環歴史ウォークが中止となったため、それかわるものとして山都町観光協会が主催したものです。

今回のコースは2つ。1日目の馬見原商店街周辺や弊立神宮を巡る「馬見原コース」(8km)、2日目の通潤橋と浜町商店街を巡る「浜町コース」(7km)です。

馬見原コースでは、馬見原街づくり協議会のみなさんが、十分な知識に裏打ちされたわかりやすい説明で参加者を案内しました。馬見原商店街、弊立神宮、夫婦岩を約3時間か

けて歩き、弊立神宮では全員に御鈴払いが行われました。

次の日の浜町コースでは、朝から大雨に見舞われ、申し込み数を大幅に下回り約40名の参加となりましたが、足下に気を配りながら、参加者はゆっくり通潤橋から浜町商店街のコースを楽しみました。

1日目の夜には、馬見原交流広場において郷土芸能が披露され、大阿蘇蘇陽太鼓喜楽の勇壮な演奏と、清和文楽の情感たつぷりの人形芝居が参加者を魅了しました。

またこの大会は「がんばろう日本! 東日本大震災チャリティウォーク」として開催され、参加費の一部が義援金として東日本大震災被災地へ送られます。



浜町コース

雨が浜町コースをひと味違うものにしてくれました。



郷土芸能披露

清和文楽の公演と大阿蘇蘇陽太鼓喜楽の演奏が行われました。



馬見原コース

案内人の語り口が楽しさを倍増させます。

宇宙へとどけペットボトルロケット

～トムソーヤくらぶ～



行って打ち上げに備えます。午後にはなんとか雨も上がって、打ち上げ体制は整いました。各組のペットボトルロケットは発射台へと向かいます。

打ち上げられたロケットは順調に飛行するもの、予定していた軌道を大幅に外れるものなどオリジナル感たっぷり。最長距離を記録したのは、赤星日花莉ちゃん製のロケット。発射台から見事な放物線を描き、89mという大記録をたたき出しました。

古川聡宇宙飛行士を乗せたソユーズ宇宙船が、日本時間の6月8日、カザフスタンの宇宙基地から打ち上げられました。その3日前、清和高原天文台では、小さなオリジナルロケットの打ち上げが成功していました。

科学遊び「トムソーヤくらぶ」では、今回ペットボトルを使ったロケットづくりを行い、9組23名が参加しました。

打ち上げが予定された6月5日は朝から雨……。打ち上げ時刻が予定より大幅に遅れるアクシデントがあったものの、参加した各組は、ペットボトルにフィンを取り付けたり、オリジナルペイントを施したり、発射準備を入念に



韓国釜山から車で2時間ほどにある、晋州(チンジュ)市で開催された「仮面劇フェスティバル」。韓国の伝統的な仮面劇を行う民間団体が主催する祭りで、毎年様々なテーマのもと、九州内の神楽が参加しており、高千穂秋元神楽などが出演したこともある今回のテーマは「人形劇」。その1番の候補として「清和文楽人形芝居」が挙げられ、アイルランド、イタリアでの公演に続き、3回目の海外公演となりました。



人形操作を体験してもらいました。

公演は、「日高川入相花王」など計3回行われ、現地通訳との事前打ち合わせを行って臨んだ人形の解説

が功を奏し、いずれも大盛況。特に若い年代が伝統文化への関心が高いことも印象的だったそうです。公演後には多くの観客が人形との記念撮影に押し寄せ、この公演の成功を実感させる光景でした。

今回の公演には、福岡県「勝浦人形座」の大きな力添えがありました。合同公演という初の試みでしたが、伝統文化継承の九州での連携について、可能性を感じさせたイベントとなりました。

また、国内に限らず、海外での「清和文楽」をPRする良いきっかけとなりました。



公演後はたくさんの方が記念撮影に押し寄せました。

文楽に挑戦しませんか?
〜清和文楽人形浄瑠璃講座〜

現在、清和文楽人形浄瑠璃の上演は、太夫2名と保存会16名で行っていますが、近年高齢化が進んでおり、将来の担い手不足が心配されています。教育委員会では平成21年度から、多くの方々に清和文楽人形浄瑠璃に慣れ親しんでもらう機会を多くつくるために講座を開講しています。

この講座の平成23年度開講式が6月2日、清和文楽館劇場で行われました。受講生は、町内在住の方を中心に現在15名です。講座は、毎週木曜日の午後7時から1時間半、「傾城阿波の鳴門」お弓とお鶴の人形の遣いを中心に練習しています。

現在の受講者は、開講当初からの参加者がほとんどで、なかなか新しい仲間が増えません。今年度から町内の小学校の児童へも参加を呼びかけて行く計画です。



あなたも人形に息を吹き込んでみませんか?

この講座に関するお問い合わせは
山都町教育委員会 生涯学習課
(72-0443)まで。